

### 3 団体合同懇親パーティ開催レポート

2025 年 6 月 13 日  
一般財団法人ベターリビング  
広報部

去る 6 月 6 日夕刻、グランドアーク半蔵門(東京都千代田区)において、当財団（CBL）、一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）および一般社団法人ベターライフリフォーム協会（BLR）の合同による懇親パーティを開催いたしました。日頃よりご支援・ご厚誼をいただいている約 400 名の皆様にご参加いただきました。

本レポートでは、おいでいただいた皆様への御礼とともに、その報告をいたします。

#### 1. 開会

はじめに、CBL 進藤孝生会長より、「カーボンニュートラル 2050 の目標達成や防犯・減災・国土強靱化の実現、建築工事費の高騰や人材不足など建築業界が進むべき道には大きな課題があり、これを解決するには産官学の協力が不可欠。当財団もその一員として貢献していきたい。この一年、中期計画初年度として、初めて関西の拠点として大阪構造判定室を開設、ライフサイクルアセスメント(LCA)関連準備チームの編成、能登半島の被災建築物の調査、人生 100 年住宅の部品の普及などに取り組んできた。今後も役職員一同、社会・政策・産業のニーズに的確に対応した事業運営を進めていく。」と開会の挨拶を申し上げます。

※ 当財団の中期計画はこちらをご覧ください。: <https://www.cbl.or.jp/about/keikaku.html>

※ 大阪構造判定室の案内はこちら。 <https://www.cbl.or.jp/standard/tekihan/file/pamphlet.pdf>

次に、ALIA 内藤弘康会長より、時にユーモアをまじえ、自社（リンナイアメリカ）の工場に米国エネルギー省長官が来訪されたエピソードを紹介しつつ、挨拶を申し上げます。

#### 2. ご来賓挨拶、乾杯

ご臨席いただいた来賓の方々を代表して、国土交通省の宿本尚吾大臣官房審議官よりご挨拶をいただきました。宿本審議官からは「住宅や建築を取り巻く環境変化に対応するために住生活基本計画の見直し、建築分野の中長期ビジョンの策定にも取り組んでいる。CN2050 年への一歩として省エネ基準への適合義務化や関係省庁と連携した支援策を講じたが、今後は建築物の LCA に政策のウィングを広げたい。国民の豊かな住生活を実現する上で 3 団体の役割と期待はますます大きくなっていく。今後とも力強い支援をお願いしたい。」とお言葉をいただきました。

続いて、BLR 橋本政昭会長より「リフォーム事業者団体の認知向上のために“知りたい! 安心リフォーム”というテレビ番組を制作した。今後とも消費者への普及を促していきたい」の決意とともに乾杯の発声を行い、賑やかにパーティが幕をあげました。

※ “知りたい! 安心リフォーム”の動画はこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=T6Cqy9NRxs8>



CBL 進藤会長



ALIA 内藤会長



国土交通省宿本審議官



BLR 橋本会長

### 3. 懇談、中締め

3団体と産官学のメンバーがこれほど一堂に会する機会は多くありません。会場には笑顔が溢れ、はずんだ会話があちらこちらのグループから聞こえてきます。

いつまでも話が尽きない中、瞬く間に時間が過ぎ、最後に、CBL眞鍋純理事長からご参集いただいた皆様へのお礼を申し上げ、「中期計画の実現には皆様のご支援とご指導が不可欠であり、一層のお力をいただきたい。恒例の記念品の手ぬぐいは暮らしのさまざまなシーンで役に立つと自負しているが、ベターリビングも皆様の業務のお役に立てるように全力で取り組む。」と締めくくり、パーティはお開きとなりました。



CBL 眞鍋理事長

### 4. おわりに

ご参加いただいた皆様のおかげをもちまして、楽しく有意義な時間となりましたこと、心より感謝申し上げます。来年も皆様とお会いできることを心待ちにしております。

＜問い合わせ＞ 住 所：〒102-0071 千代田区富士見 2-7-2  
担 当：広報部 （03-5211-1402）

